

「までのりの里のこども園」が、『令和6年度子どもの読書活動文部科学大臣表彰』を受けました。「子ども読書の日」にあたる4月23日、国立オリンピック記念青少年総合センター（東京都渋谷区）で「子どもの読書活動推進フォーラム」が開催され、式典において、三品勝彦園長が、文部科学大臣表彰の表彰状を授与されました。また、塙啓世保育教諭が、受賞団体を代表して、読書活動の事例発表を行いました。

令和3年度から飯館村教育委員会の重点施策に「絵本に親しむ」ことが掲げられたことを受け、園は読書活動に、一段と力を入れてきました。さまざまな場面に読み聞かせを取り入れ、一人ひとりの興味や個性を大切に、絵本との関わりを深めていきました。また、保育活動中はもちろん家庭でも絵本に親しんでもらおうと働きかけを続けています。「体に栄

までのりの里のこども園

子どもの心を豊かに育む
読書活動

作家とのふれあい活動

柳田邦男先生といせひでこ先生によるワークショップ
雲の写真から連想して絵を描き加える活動、絵本や紙芝居の読み聞かせ、絵画指導などのワークショップ。園舎を彩る絵画を制作された、いせひでこ先生と触れ合うことで、絵本に描かれている“絵”への興味が高まりました。

絵本タイム

いいいた希望の里学園へ出向き、1・2年生に絵本を読んでもらう「移動絵本タイム」。3歳児から5歳児が、おすすめの絵本を選び、みんなの前で読み聞かせを行う「合同絵本タイム」。3歳未満児が午睡（昼寝）前に行う絵本タイム。保育参観に行う「親子絵本タイム」があります。

午睡前の絵本タイム



保育参観で親子絵本タイム



柳田先生・いせ先生のワークショップ

親子読書の啓発
絵本専門士の講演「デジタル時代における親子の関わり方～親子をつなげる絵本の力～」、保育教諭が親子役で読み聞かせのロールプレイを行う「読み聞かせ講座」などを開催。また、「えほんだより」などを通してさまざまな絵本を紹介。「読み聞かせの木」は保護者間で絵本の情報を共有する楽しいツールです。

絵本貸し出し
玄関ホールに保護者向けの本を含む貸し出しコーナーを開設。3歳以上児の学級では週に1回・2冊ずつの貸し出しを行っています。また移動図書館（県立図書館・南相馬市立図書館）による貸し出しも行っています。
園の2,150冊の蔵書をデータ管理。また、子ども達が自分で本を探せるよう種類毎に色シールを貼り分類を掲示しています。

保育中での絵本活用
昆虫や植物などを図鑑で調べ、野菜の栽培や生き物の飼育に役立っています。絵本を見て、折り紙遊びやごっこ遊び、工作、劇遊びなども楽しめます。また、トイレトレーニングや歯磨き指導など生活習慣の獲得にも活用。英語活動ではALTの先生の読み聞かせも楽しんでいます。
毎年の生活発表会で絵本を題材にした発表を行いモチーフの絵本を紹介しています。



合同絵本タイム



移動図書館

えほんだより



保育教諭が親子役でロールプレイ

読解力を高める発問を実演



「読み聞かせの木」で保護者同士が絵本の感想を共有



絵本を見ながら工作



英語活動での読み聞かせ